

公表:平成 31年 3月 31日

事業所名 すてきなクジラ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		天候が良い日は戸外活動を多く取り入れたり、雨天時等は一階二階で活動を分けるなど行っています。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		職員間で声掛けを増やし、支援を行っています。	現在、新規に職員を募集しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		絵カードや個別の必要性に応じて支援しています。	一軒家のため、階段があります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日清掃を行って清潔を保つようしています。汚れたときは適宜掃除し、子どもたちが常に気持ちよく過ごせるように目指しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			SV等を定期的実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		昨年度のアンケート結果に基づき、障害のない子どもたちとのイベントを実施しました。	イベント等だけではなく、日常的に関わる機会等も作っていくように努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメント会議を週に1回行ない、職員の理解を深め、子どもや保護者の意向に合わせた支援を目指します。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			CSPの社会スキルトレーニング等を行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月に1回月予定を配布し、活動が固定化しないよう工夫を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全職員に対して支援内容や行う時間バディ等を伝えて打ち合わせを行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			支援後に就業時間が終わってしまうことがたびたびあるので、翌日の打ち合わせ時間等に変更できるように変更します。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			対象となる児童の担当職員が対応するように行っていきます。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか	○			地域の保健師や障害サービスを利用したいと要望する見学者に相談室の紹介等も行っていきます。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		対象となる児童、利用者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		対象となる児童、利用者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		対象となる児童、利用者なし	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		対象となる児童、利用者なし	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターが法人内にあるので、職員同士連携をしております。週に1回の会議、職員間のSV等も行っていきます。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		年に1回から2回程度、外部のイベント等に参加しています。	保護者への周知やイベント回数が少ないと考えられるので、周知のためのプリントを増やしたり、イベントや日常に関わることができる場面も設けるように努めます。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		研修会や子どもたちの支援会議等へ参加しています。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			その日に行った活動やその日の様子を送迎の際や電話で連絡しています。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		希望者のみではあるが、その子どもに応じた社会スキルの練習を職員と保護者で行っています。	周知が足りない面があるので、保護者への説明等を増やしていきます。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入園の際や保護者の方から質問等があった際に説明を行っています。	
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		個別支援計画の作成時や評価時に困り感を確認しています。	より相談等に応じてほしいとの要望も多いので、職員から声をかける機会を増やしていくようにしていきます。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		行事の際などに母子通園を勧め、その際に関わることができるように努めていきます。	利用している児童発達のお子さんが少ないので、交流等をする機会はあまり多くなかった。来年度は保護者も参加しやすいイベントや行事を増やし、保護者会などが行いやすくなるように努めます。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月予定を毎月発行し、配布し、保護者へも行事の際の様子等をお話しています。	保護者への周知が少なかったようなので、よりわかりやすく参加しやすいように改善できるようにしていきます。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			全体への声掛けで行うことが難しい子へは個別の声掛けや絵カードの提示等を行っています。	
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		見学等を随時受け入れています。町内会に参加しています。	
非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		法人内でマニュアル等を作成しています。	
	㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一回の避難訓練を実施しています。	月予定や様子を伝える際に保護者へも連絡していたが、把握していない保護者の方も多いため、プリント等でよりわかりやすく伝えるように努めます。
	㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			入園の際にインテイクを行い、子どもたちの状態把握に努めています。また、保護者から服薬等の情報を確認しています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			対象となる子どもはいないが、法人内でアレルギー対応のマニュアルがあり、研修等にも参加しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事故報告書を作成し、事故の発生した状況を再現した練習等を行っています。	当事者職員とは行っていたが、ほかの職員とも練習等を行うように努めます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のための研修に参加していきます。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束を行う際は保護者や児童相談所等にも確認しています。落ち着くことができる場所や環境で見守ったり、安心できるように抱っこをする関わりを中心で行っています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。